

## 【樹木・草花の部屋】

### パンパスグラス（イネキ科コルタデリア属 Cortaderia selloana）

**和名**；シロガネヨシ **別名**；パンパスグラス **英名**； Pampas grass  
イネ目多年草

**原産地**； ブラジル、アルゼンチン、チリなどの南米大陸の草原（パンパス）

**花言葉**； 光輝 人気

**花の色**； 銀白色、紫



⇒ 写真－１ パンパスグラスの樹形

撮影日：２０１２年１１月１１日

撮影場所：東京都昭島市 昭和の森にて

撮影者：Mさん

ふわふわした巨大な花穂が特徴の植物。大型で花穂は２～３mくらいにまで伸びます。存在感は大きく庭でもメインをはれる植物ですが庭の大きさをよく考えて植えないとこれ一株だけで庭が埋まってしまうことも……。ススキの葉のように細長い葉は縁がピンと貼った紙のように鋭く、手が切れるので要注意。

写真－２ パンパスグラスの穂

⇒

撮影日：２０１２年１１月１１日

撮影場所：東京都昭島市

昭和の森にて

撮影者：Mさん

パンパスグラスは雄株と雌株があり、鑑賞価値があるのはススキの穂のような花穂をつける雌株の方。細長い葉を株元からたくさん伸ばします。



## 【樹木・草花の部屋】

<ちょっと一言>

### 増殖は

主に株分けで……。これは穂の形状に個体差が出やすいので、同じ株から増やしたほうが群生したときに揃うため……。

### 栽培には

日当たりのよい場所を選ぶこと。

### 剪定は

花が咲き終わったあとに株全体を半分くらいに切り戻します。そうすることで春から新芽がでやすくなります。冬の間枯れた葉は防寒の意味でもそのままつけておき、暖かくなって新芽が伸び始める頃に取り除くと良い。

### 世話は

冬の寒さには弱く、霜が降りるような場所での栽培は不向き。寒さが厳しくなるような場所では、切り戻しを行ったあとに腐葉土や枯れた葉をかぶせて防寒を……。

### 利用は

花穂をつけた姿は見栄えがするので、公園・花壇の植栽や道路分離帯の緑化などに、また、ふさふさした動物のしっぽのような花穂を切り花、ドライフラワーとして利用することも……。丈夫な植物なので日本でも暖かい地方であれば野生化して雑草のように扱われていることもあります。これといった手間も不要。